



中部電力

みなさまへ

浜岡原子力発電所 駿河湾の地震時の揺れに関する 要因分析についてお知らせします。

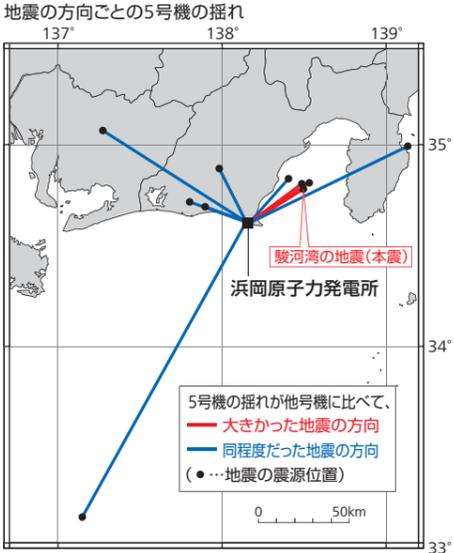
浜岡原子力発電所5号機では、平成21年8月11日の駿河湾の地震で3、4号機に比べて大きな揺れを観測しました。当社は、揺れに違いが生じた要因の分析を実施しており、これまでの分析内容を取りまとめましたのでご説明します。

5号機はなぜ他の号機と比べて揺れが大きかったのですか

「低速度層」により、地震波が増幅したものと考えています。

「低速度層」は、地震波の伝わる速度が周囲と異なるものの、周囲と同じように数百万年かけて固まった岩盤です。

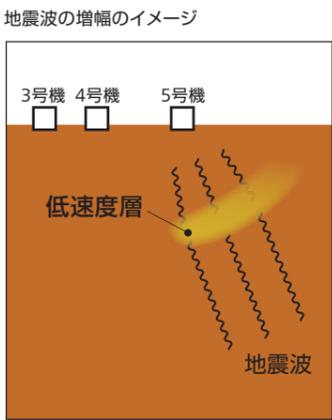
◆駿河湾の地震では、5号機は3、4号機に比べて2倍程度大きい揺れを観測しましたが、これまで発生した他の地震では、5号機は3、4号機と同程度の揺れとなっていました。



◆調査の結果、敷地(左図の■)の東側5号機の地下300〜500mに、地震波の速度が、周囲の岩盤に比べて3割程度低下する岩盤(左図の■)を確認しました。(当社は、これを「低速度層」と呼ぶこととしました。)



◆「低速度層」の分布を反映した解析を行ったところ、駿河湾の地震(本震)の方向からの揺れについて、5号機の揺れが3、4号機に比べて大きくなる結果が得られました。このことから、「低速度層」によって地震波が増幅したものと考えています。

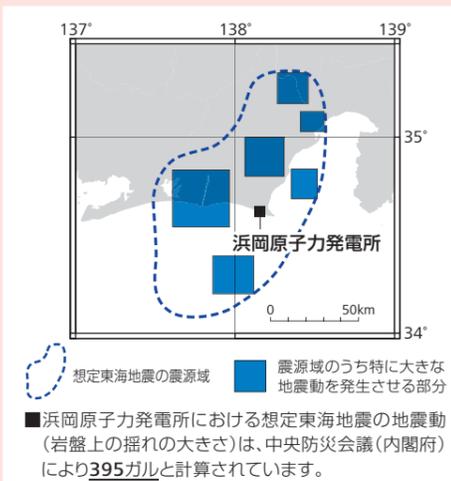


◎引き続き、「低速度層」に関する検証を進めてまいります。

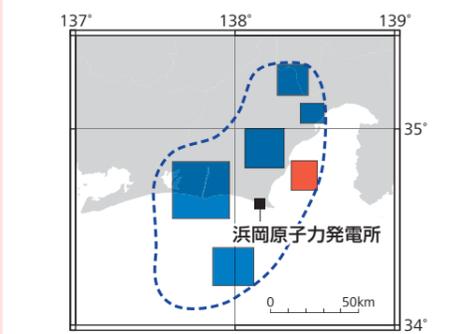
東海地震が発生しても大丈夫ですか

浜岡原子力発電所の耐震安全性は確保されています。

◆3〜5号機は、国の指針に基づき、安政東海地震(1854年)に対し余裕をみて策定した地震動(基準地震動S₂1600ガル*)を用いて設計しています。さらに目標地震動約1000ガルによる耐震裕度向上工事を実施しました。駿河湾の地震を踏まえても、想定東海地震の地震動は基準地震動や目標地震動を下回っており、浜岡原子力発電所の耐震安全性は確保されています。



■浜岡原子力発電所における想定東海地震の地震動(岩盤上の揺れの大きさ)は、中央防災会議(内閣府)により395ガルと計算されています。



■駿河湾の地震では、5号機は3、4号機に比べて2倍程度大きい揺れを観測しました。
■想定東海地震について、駿河湾の地震の震源近く(上図の■)から発電所敷地に到来する地震波を2倍して計算したところ、浜岡原子力発電所における地震動(岩盤上の揺れの大きさ)は500ガル程度となりました。

*ガル: 加速度の単位 (cm/s²) で地震の揺れの強さを数値で表現したものです。



■浜岡原子力発電所

当社は、今後とも地域のみなさまに信頼していただける原子力発電所を目指し、「安全最優先」と「情報公開の徹底」に努めてまいります。これまでと同様、みなさまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

中部電力株式会社

浜岡地域事務所 総括・広報グループ
〒437-1695 静岡県御前崎市佐倉5561
TEL:0537-85-2460 9:00~17:00 土日・祝日除く

静岡支店 広報グループ
〒420-8733 静岡県静岡市葵区本通二丁目4-1
TEL:054-273-9004 9:00~17:00 土日・祝日除く

駿河湾の地震の状況をはじめ、原子力発電に関する情報につきましては、ホームページでもお知らせしております。

<http://www.chuden.co.jp>

PRINTED WITH SOY INK 印刷用インクは、環境に優しい大豆油インクを使用しました。